

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業に係る効果検証

事業計画No	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	臨時交付金充 当額（円）	事業効果（実績）
1	保育・教育機関感染症対策経費	①感染症予防のための用品の充実及び予防に伴う熱中症対策用品の充実、また、カーテン、シーツのクリーニングの徹底、音響設備を整備し3密回避、屋外活動の充実による医薬材料費補充、換気徹底の周知を図る事により学校生活の安全の確保・充実を図る。 ②除菌用品、消毒液、熱中症対策用品等の購入（消耗品費、医薬材料費）、カーテン、シーツクリーニングに係る経費（手数料）、音響設備の整備に係る経費（修繕料、備品購入費）に充当 ③除菌用品 62千円(キッチンハイター、ペーパータオル、スプレー、スプレーボトル、石けん、ポリ袋、ティッシュ、ウェットタオル、フロアワイパーシート、消毒容器、その他医薬材料費) 消毒液 33千円(6,400円×2本×1.1、2,074円×9本) 熱中症対策用品 10千円(200円×50本) クリーニング代(手数料) 31千円(14千円×2回×1.1) 音響設備修繕経費(修繕料) 1,683千円(1,530千円×1.1) CDラジカセ購入経費(備品購入費) 19千円(17,000円×1台×1.1) ④幼稚園、小学校、中学校	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.4.28	R4.2.12	1,434,749	1,428,000	除菌用品、消毒液、熱中症対策用品の充実、カーテン、シーツのクリーニング、音響設備を整備し、幼稚園、小学校、中学校に配備し、3密回避による感染対策の徹底・学校生活の安全の確保・充実することができた。
2	東吉野村活性化事業	①外出自粛等の影響により観光客が減少しているため、村の魅力を発信し、また、観光施設、特産品販売施設の設備を充実させることにより、観光客の増加・地域経済の活性化を図る。 ②公共施設等へのポスター掲示に係る経費（報償費、印刷製本費、広告料）、観光施設修繕経費（修繕料）、特産品販売施設設備増設経費（工事費）、新聞web広告掲載経費（広告料）、魅力発信動画制作経費（委託料）、広域魅力発信事業経費（負担金）、観光パンフレット作成経費（印刷製本費） ③ポスター用写真提供お礼（報償費） 30千円(30千円×1人) 近鉄駅周辺ポスター掲示（印刷製本費） 2,937千円(890千円×3回×1.1) 近鉄電車ドア横ポスター掲示（広告料） 1,496千円(50千円×12ヶ月×1.1+22千円、60千円×12ヶ月×1.1+22千円) 観光施設修繕経費（修繕料、使用料） 2,284千円(修繕経費1,551千円×1.1、資材運搬費 577千円) 特産品販売施設歩廊灯増設経費（工事費） 743千円(675,400円×1.1) 新聞web広告経費（広告料） 462千円(420千円×1.1) 魅力発信動画制作経費（委託料） 215千円(195千円×1.1) 広域魅力発信事業負担金（負担金） 500千円(500千円) 観光パンフレット作成経費（印刷製本費） 605千円((デザイン代 300千円+印刷代 20円×10,000部+製版代 50千円)×1.1) ④地方公共団体	①-Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R3.4.1	R4.3.31	5,263,510	5,262,000	近鉄電車や駅周辺、公共施設等へのポスターの掲示、観光案内看板の設置、新聞への掲載、パンフレットの作成、魅力発信動画の作成、特産品販売施設の増設を行い、コロナ禍において減少している観光客の増加・地域経済の活性化を図った。
3	緊急対応・体制整備事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施及び対応に伴う体制整備を図る。 ②対策の実施及び体制整備に伴う職員時間外勤務手当及び会計年度任用職員経費 ③時間外勤務手当 500千円(2,500円×200時間) 会計年度任用職員経費 2,582千円(報酬 150千円×12ヶ月、社会保険料等 399千円、期末手当 383千円) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.4.1	R4.3.31	2,996,191	2,988,000	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策実施のため非常勤職員を雇用し、感染拡大防止を図った。

4	ひよしちゃん生活応援券事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けている村民や店舗等を支援し、地域の振興を図る。 ②1人当たり500円券10枚綴り給付に係る経費及び応援券作成、送付等に係る経費 ③応援券 8,350千円(1,670人×500円×10枚) 作成等に係る事務費 1,000千円(一般報償30千円、消耗品112千円、印刷435千円、通信運搬423千円) ④村内に住所を有するすべての方	①-Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R3.5.14	R4.2.25	8,529,454	8,528,000	村内事業所で使用出来る応援券の発行により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の活性化が図れた。 応援券換金額：7,786,000円
5	プレミアム商品券発行支援事業	①村商工会が行う、購入額にプレミアム分を上乗せした商品券発行事業を支援し、地域経済再生のきっかけを創出する。 ②6千円分の商品券を5千円で販売し、その差額(プレミアム分)及び事業執行に係る事務費(商品券の印刷、販売、換金等)を補助する経費を対象経費とする。 ③商品券発行部数3千冊とし、そのプレミアム分として3,000千円(1千円×3千冊)、事務費として700千円(印刷経費、換金手数料)、合わせて3,700千円を補助金として計上 ④東吉野村商工会	①-Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R3.6.17	R4.3.28	3,698,500	3,698,000	村商工会が行う商品券発行支援事業を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の活性化が図れた。
6	公共交通応援事業	①外出自粛による公共交通バスの経営悪化を防ぎ利用促進を図るため、定期の購入及び補助を行う。 ②外出自粛の影響を受けている公共交通バス事業者への経営支援のため、職員が出張する際公共交通バスを活用できるよう定期券を購入する。また、経営悪化を防ぐため支援を行う。 ③公共交通バス事業者への経営支援として、職員が出張時活用するための定期代 2,268千円(40,500円×56枚) バス維持対策事業補助金(補助金) 2,012千円(2,012千円) ④公共交通バス事業者	①-Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R3.4.1	R4.2.25	421,500	308,000	職員が出張する際活用できるようにするため定期券の購入及び助成を行いコロナ禍による公共交通バス利用者の減少に伴う経営悪化を防いだ。 職員出張用定期購入：283,500円 バス維持対策補助：138,000円
7	感染症拡大防止啓発事業	①感染症拡大防止啓発等コロナ関連施策広報周知を実施 ②啓発実施に要する経費に充当 ③感染症拡大防止啓発に要する経費 看板等作成経費 110千円(コンパネ、角材、木用スリムビス、アルミカギ、ナットボルト、針金、インパクトドライバー) 啓発案内作成経費 939千円(プリンター、トナー廃棄ボルト、ラミネーター、ラミネートフィルム、大判プリンター、プリンター用紙、大判プリンター用ソフト、テプラ、テプラテープ) 周知広報用チラシ作成経費 11千円(9円×1,200枚) 河川立入禁止等活動自粛要請経費 176千円(立入禁止標識テープ、トラロープ、ロックタイ等) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.4.1	R4.1.19	311,294	308,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、看板やチラシにより周知を行い感染予防の徹底を図った。
8	図書充実事業	①外出自粛時に在宅で過ごす時間を豊かなものとするため、読書環境の充実に向けた取組を実施するのに必要な経費に充当。 ②図書購入経費(備品購入費)に充当 ③図書購入経費(備品購入費) 250千円(5千円×50冊) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.6.7	R4.3.18	241,500	241,000	新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため活動自粛となっている間の読書環境の充実・教育の促進を図った。
9	安心して過ごせる公共的空間確保事業	①3密を回避し感染症を予防するため公共的施設等における空調設備の修繕・清掃並びにバス停のサイン改修を行う。 ②換気・清掃の徹底により追加的に必要となる経費(修繕料、委託料)に充当 ③空調修繕(修繕料) 345千円(120千円×1.1、193千円×1.1) 清掃委託(委託料) 280千円(38千円×3台×1.1、35千円×4台×1.1) バス停留所看板改修(備品購入費) 460千円(418千円×1.1) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.4.30	R4.1.8	1,083,500	855,000	公共施設等の空調設備の修繕・清掃による3密を回避し感染症蔓延防止及び安心して利用できる環境の整えたバスの利用促進を図った。

10	利用促進事業	①外出自粛等の影響により利用客が減少している温泉施設において、施設利用促進のための回数券作成、施設の環境を整備する経費に充当。 ②回数券作成経費(印刷製本費)、施設環境整備経費(委託料) ③回数券作成(印刷製本費) 330千円(デザイン代 30千円、印刷代 60円×5,000冊) 高所窓ガラス清掃委託(委託料) 253千円(230千円×1.1) ④地方公共団体	①-Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R3.5.19	R3.7.27	517,000	516,000	外出自粛の影響により利用客が減少していた温泉施設において、施設利用促進のため回数券を作成、環境の整備を行い、地域経済の活性化を図った。
11	地方創生テレワーク推進交付金	①ポストコロナ、新しい生活様式への対応としてテレワーク施設(サテライトオフィス)の整備を行う。 ②工事費 ③テレワーク施設(サテライトオフィス)整備 49,808千円(45,280千円×1.1) うち補助対象 30,000千円 ④地方公共団体	②-Ⅱ-6. 地方への人の流れの促進など活力ある地方創り	R3.12.13	R4.3.31	30,000,000	15,000,000	コロナ禍で村の主要施策である移住定住促進施策を促進するため、サテライトオフィスの整備を行った。
12	地方創生テレワーク推進交付金(継ぎ足し単独)	①ポストコロナ、新しい生活様式への対応としてテレワーク施設(サテライトオフィス)の整備を行う。 ②設計監理費、工事費、土地購入費、備品購入費 ③設計監理費 6,609千円(6,008千円×1.1)(交付対象 6,609千円) テレワーク施設(サテライトオフィス)整備 49,808千円(45,280千円×1.1) うち補助対象 30,000千円 継ぎ足し単独 19,808千円(交付対象 19,808千円) 備品購入費 6,500千円(交付対象 6,500千円) 土地購入費 4,500千円(交付対象外、起債対応 4,500千円) ④地方公共団体	②-Ⅱ-6. 地方への人の流れの促進など活力ある地方創り	R3.10.1	R4.3.31	39,834,000	28,933,000	コロナ禍で村の主要施策である移住定住促進施策を促進するため、地方創生テレワーク交付金と併せて、サテライトオフィスの整備を行った。
13	公共的空間安全・安心確保事業(トイレ改修)	①公共的施設利用者の感染リスクの軽減を図り、安心して利用していただくため、トイレの改修を行う。 ②トイレ改修経費(修繕料) ③トイレ改修経費(修繕料) 692千円(250千円×1.1、379千円×1.1) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.6.11	R3.7.26	606,091	606,000	公共的施設のトイレの洋式化工事を行い、利用者の感染リスクの軽減、安心して利用できる環境ができた。
14	公共的空間安全・安心確保事業(仕切り版、マスク、除菌)	①3密を回避し感染症を予防するため会議室等の机に仕切り版を設置する。その他感染対策に必要な消耗品、医薬材料費を購入する。 ②会議室等の机に設置する仕切り版設置経費、感染拡大防止に必要な消耗品、医薬材料費購入経費を対象経費とする。 ③仕切り版設置経費 11千円(11千円×1施設) マスク 60千円(10千円×6箱) 消毒薬 33千円(6,400円×2本×1.1、2,074円×9本) 除菌用品 50千円(キッチンハイター、ペーパータオル、石けん、ティッシュ、ウェットタオル) ビニール手袋 18千円(3,900円×4個×1.1) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.6.25	R4.7.2	11,000	11,000	庁舎窓口や会議室に仕切り版を設置。マスクや、消毒薬、除菌用品を購入し感染のリスクの軽減を図った。
15	公共的施設換気冷暖房対応強化事業	①感染症予防のため公共的施設における換気設備・冷暖房の対応を強化し、安心して過ごせる空間を提供する。 ②冷暖房機能強化にかかる経費に充当 ③冷暖房設備整備経費 9,350千円(1施設) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.6.14	R3.11.12	9,350,000	9,350,000	公共的施設の冷暖房設備の強化により換気の徹底を行い安心して過ごせる環境を整備した。

16	東吉野村活性化事業(補正)	①外出自粛等の影響により観光客が減少しているため、村の魅力を発信し、また、観光施設を充実させることにより、観光客の増加・地域経済の活性化を図る。 ②魅力発信動画制作経費(委託料)、観光案内看板設置経費(備品購入費)、観光施設修繕経費(修繕料) ③村魅力発信動画制作経費(委託料) 2,000千円(2,000千円×1) 観光案内看板設置経費(備品購入費) 454千円(80ヶ所) 観光施設修繕経費(修繕料) 2,391千円(修繕経費 970,600円×1.1、1,202,790円×1.1) ④地方公共団体	①-Ⅲ-2. 地域経済の活性化	R3.9.21	R4.3.31	2,000,000	2,000,000	コロナ禍に対応したPR方法として、魅力発信動画の作成、観光案内看板の設置、観光施設の修繕することで、周知による知名度の向上及び観光PR、地域経済の活性化を図った。
17	都市と地方とのつながり創出事業	①ポストコロナ、新しい生活様式への対応としてテレワーク作業用設備の整備を行う。 ②テレワーク作業用設備整備費(備品購入費) ③テレワーク作業用設備(備品購入費) 638千円(机 95千円×2台×1.1、椅子 65千円×6脚×1.1) ④地方公共団体	②-II-6. 地方への人の流れの促進など活力ある地方創り	R3.10.19	R4.3.31	638,000	638,000	新型コロナウイルス感染症蔓延により新たな仕事環境への対応としてテレワーク用備品(机・椅子)を整備し、移住促進を図った。
18	東吉野村マナー啓発活動事業	①外出自粛等の影響により観光客は減少している一方、アウトドアの需要が高まり、キャンプやバーベキューのため来村する人が増えており、その人達によるごみの放置が問題となっている。問題解決のためマナー向上啓発看板の設置を行う。 ②看板設置費(備品購入費) ③マナー向上啓発看板設置経費 1,650千円(75千円×20枚×1.1) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.8.19	R3.9.30	1,575,200	750,000	新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い屋外での活動(キャンプやバーベキュー)が増え、ごみの放置が大きな問題となったことから看板設置による啓発を行った。
19	東吉野村マナー啓発活動事業(補正)	①外出自粛等の影響により観光客は減少している一方、アウトドアの需要が高まり、キャンプやバーベキューのため来村する人が増えており、その人達によるごみの放置が問題となっている。問題解決のためマナー向上啓発看板の設置を行う。 ②看板設置費(備品購入費) ③マナー向上啓発看板設置経費 1,174千円(看板設置 106,720円×10枚×1.1) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.12.8	R3.12.24	1,173,920	603,000	新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い屋外での活動(キャンプやバーベキュー)が増え、ごみの放置が大きな問題となったことから看板設置による啓発を行った。
20	安心して過ごせる公共的空間確保事業(補正)	①現在AED未設置施設について、非常時の接触機会を減らし感染リスクを回避するためAEDを設置する。 ②AEDの設置に要する経費(備品購入費)に充当 ③AED設置経費(備品購入費) 418千円(380千円×1.1) ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.10.5	R3.10.18	308,000	308,000	特産品販売施設において緊急時の接触を減らし感染リスクを回避した救助を行うためAEDを設置した。
21	ごみ量削減助成事業	①家庭での生活が増加する事によるごみ量の増加に対応するため、生ごみ処理機購入世帯への助成を行う ②生ごみ処理機(容器)購入経費に対して1/2を助成(生ごみ処理機購入補助上限 30,000円、容器購入補助上限 3,000円) ③生ごみ処理機購入助成 600千円(30千円×20人) 生ごみ処理容器購入助成 60千円(3千円×20人) ④生ごみ処理機(容器)購入世帯	②-II-9. 家計の暮らしと民需の下支え			0	0	
22	公共交通利用促進助成事業	①外出自粛による公共交通バスの経営悪化を防ぎ利用促進を図るため、定期代の補助を行う。 ②学生の利用を促進するためバス通学定期代について8割補助を行う。 ③大学生までのバス通学定期代補助 2,860千円(23,270円×80%×12ヶ月×16人×0.8(使用率)) ④学生の保護者	①-Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R3.4.30	R4.3.31	2,228,200	2,228,000	学生の利用を促進するためバス定期代を補助し、コロナ禍による公共交通バス利用者の減少に伴う経営悪化を防いだ。

23	支援物資配布事業	①コロナ感染者や濃厚接触者等で自宅待機を要請され外出できない方に支援物資を配布する。 ②支援物資に係る経費として消耗品、食料品、医薬材料購入経費を対象経費とする。 ③支援物資300千円(パックご飯、各種レトルト食品、カップ麺、缶詰、野菜ジュース等の食料品、ティッシュやアルコール消毒液などの日用品セット3,000円×100人) ④コロナ感染者や濃厚接触者等自宅療養、隔離のため外出できない方	③-I-5. 生活・暮らしへの支援			0	0	
合計						112,221,609	84,559,000	